

おもな学校感染症一覧表（第2種学校感染症）

病名	出席停止	主な症状	侵入経路	潜伏期間	伝染可能期間	予防方法	好発季節
インフルエンザ	発症後5日経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで	急な発熱、頭痛、関節痛、全身倦怠感、咳、鼻水、のどの痛み	飛沫	1～3日	発病後3～4日	うがい、手洗い、マスク、予防接種(任意)	冬 12～3月
百日咳	特有の咳が消失するまでまたは5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで	コンコンという短く激しい咳が続く	飛沫	1～2週間	発病後28日	予防接種	夏
麻疹(はしか)	解熱後3日を経過するまで	発熱、咳、鼻水、目やに、結膜充血、頬の内側にコプリック班(白点)ができる。発熱後4日目より皮膚に発疹。	飛沫	10～12日	発疹の出る5日前～後4日	予防接種	冬～春
流行性耳下腺炎(おたふく)	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで	37～38° Cの発熱。片側～両側のあごの後ろが大きく腫れて痛む。食欲不振、嚥下困難	飛沫	1～2週間	発病7日前から発病後9日	患者の隔離、予防接種(任意)	冬～春
風疹(3日ばしか)	発疹が消失するまで	発熱、発疹、耳の後ろ・首・脇の下などが腫れる。咳、結膜の充血	飛沫	2～3週間	発疹のでる7日前から、でた後の7日間	患者の隔離、予防接種	春～夏
水痘(水ぼうそう)	全ての発疹が痂皮化するまで	水疱のある発疹が体中に次々できる。かさぶたになり、先に出たものからなおっていく。	飛沫・直接	2～3週間	発疹のでる1日前からでた後の6～7日	患者の隔離、予防接種(任意)	冬～春
咽頭結膜熱(プール熱)	主要症状が消失した後、2日を経過するまで	発熱、のどの痛み、結膜の充血、首のリンパ節の腫脹	結膜接触・汚染物	5～7日	発病後2～3週	水泳禁止、洗眼	夏～秋
結膜	伝染のおそれが無くなるまで	初期は自覚症状無し。X線で発見されることが多い。疲労感、寝汗、微熱、体重減少、肩こり、咳、たん	飛沫	1～2ヶ月		BCG接種 X線による早期発見。栄養と休養	なし
髄膜炎菌性髄膜炎	伝染のおそれが無くなるまで	高熱、頭痛、嘔吐、頸部硬直 早期の治療が必要	飛沫	2～5日		早急な治療、保健所への届け出義務	なし